

特定非営利活動法人

シルバーアドバイザー・ネット大阪

第 16 期 通 常 総 会

議 案 書 案

開催日時 2022年5月29日 午後1時30分

開催場所 大阪ボランティア協会 大会議室

通常総会議事次第

- 1 開会
- 2 挨拶
 - 1) 理事長挨拶
 - 2) 来賓挨拶
- 3 議長選任
- 4 議長就任挨拶と議事進行
 - 1) 会議成立要件の確認
 - 2) 議事録署名人の選任
 - 3) 議案審議
 - 第1号議案 第15期事業報告承認の件
 - 第2号議案 第15期活動計算書報告と監査報告承認の件
 - 第3号議案 役員選任（案）の件
 - 第4号議案 第16期事業計画（案）の件
 - 第5号議案 第16期活動計算書予算（案）の件
- 5 議長解任
- 6 閉会

第1号議案 第15期事業報告

I. 第15期事業 総括報告

第15期はコロナに明け暮れた1年でした。連日の報道で危機感が熟成され高齢者の活動意欲が削がれ活動の停滞となりました。又国際情勢はと見れば中国によるウイグル民族・ジェノサイド問題等々不条理な事柄が連日世界のどこかで起こっている状況です。日本も又、さまざまな国々の、それぞれの思惑の中、厳しい状況におかれていると思います。

そんな中、当法人は設立以来15年を経過するという節目の年を迎えました。昨年度末にはSA・ネット大阪ニュースを15周年記念特集号として発行致しました。それぞれが15年を振り返り、またその時代を知らない世代の者は歴史を知るうえで貴重な号になったと思っております。広報部には大変なご苦勞をおかけ致しました。

またそれぞれの事業部におきましては、コロナ禍の中での活動に工夫を凝らした活動を実施いたしました。

本部に於きましては新たに「おもちゃ学校」をSA吹田の全面的支援を頂いて新たに開校する事ができました。コーダイ子ども事業部の一翼として今後も活動を続けていく足がかりができたと思っております。

おもしろ算数教室事業部におきましては、活動の持続性という観点から講師の複数化が果たされました。

国際交流事業部につきましては期初から就活支援グループが独立するという事でスタートし、事業部長不在の中、後期からはオンラインで海外との交流活動をスタートする事ができました。

決算状況は2年続けて繰越金を増やす事ができました。過去の遺産を食いつぶしての活動から脱却したという事は、社会からも評価を受けるに足る団体になったという事だと思っております。

他団体との連携につきましては、国際交流事業部、本部に於いてSA吹田とのコラボ活動が実現できました。また当法人の母体であります、大阪府SA連協との人的繋がりには更に緊密になり、今後の活動においてもWIN,WINになるように模索していきたいと思っております。

II 事業部 活動報告

1. 伝承おもちゃづくり府民塾事業部 活動報告

前期の活動は、「コロナ禍」の影響を受け、ほとんど活動できない状況で終わりました。

1、四天王寺「わっか市」 参加回数 0

「わっか市」へは、一度も参加はできませんでした。「わっか市」そのものは、昨年後半2~3回開催されましたが、私たちの活動が、「3密」の一つ、子どもさん方やシニアとの「濃厚接触」を懸念され、出店を許されずに終わりました。

四天王寺側の「自寺での催しでの参加者から感染者を出さない」との強い意思表示でもありました。

2、「おもちゃづくり教室」 実施 2回

「コロナ感染」を懸念し「3密」を避けるという趣旨で、年2回（昨年11月、本年3月）の開催に止まりました。

講師側、受講生ともシニアが多く、また、府内各地からの参加で外出による感染懸念を考慮し大事をとりました。それでも3月の「教室」には20人の参加者があり、会場側の制限収容人数を越え会館側に特別了解を得たほどでした。

3、NPO 法人大阪府民カレッジ受講生への指導 実施2校（延3回）

同カレッジ側が、やはり「コロナ禍」懸念から、各校の開講を9月からとされ、例年月2回程度のカリキュラムを月4回などに変更、過密日程となりましたが、「おもちゃづくり指導」は、当初の日程通りでカリキュラムに組み込まれ、「天王寺校」は1回、「みなと校」は2回指導しました。

在校中でのそれぞれの「地域まつり」等に参加し、地域市民との交流を図る一環のための受講ですが、各地とも「地域まつり」そのものが中止となり、その意図は果たせませんでした。今後、それぞれの地域交流活動に役立つものと期待しています。

数少ない活動でしたが、幸いにも参加者で「コロナ感染症」に罹病された方はなく安堵しています。

2、おもしろ算数教室事業部 活動報告

今年度も、この教室への参加者からは、「算数パズル難しかったが、楽しかった」「頭の体操、楽しかった」「算数楽しく遊びました」等の声上がり好評を得ました。この活動を

楽しみながら「マジックの謎解きをする・パズルを解く・簡単な計算をする」

に取り組む事によって、脳を活性化することが出来ます。日本認知症予防協会で行われている「認知症予防対策4か条」

食生活対策・頭（脳）のトレーニング・運動習慣・質の良い睡眠
の中の一つであることが分かります。

現在は、パズル体験やおもしろ算数パズル塾の活動は、なかなか困難です。しかし、相変わらず「おもしろ算数教室とはどのようなものか」を知って頂く絶好の機会だと考えています。そこで、パズル体験が以前のように再開できるようになった時には、現在、参加には、大きい溝となっている「参加すると頭をはかられる」感覚を除き、又は小さくするための工夫が求められています。

3、国際交流事業部 活動報告

2020年度の活動は昨年度の活動(留学生交流プログラム、大阪大学ホストファミリープログラム)が、コロナの影響を受け、すべての活動休止となりました。又一昨年新たに加わったメンバーが始めた留学生就活支援事業も独立して活動を行なう事となりました。そんな中、コロナの影響を受けない新たな活動の模索を続けオンラインでの海外との交流活動という事にたどりつき、実施にこぎつけました。交流相手先はミャンマーとトルコの2か国です。

①ミャンマー日本語学校(ヤンゴン)との交流活動を始めました。

交流名称：「日本語で話そう」交流会

活動日：毎週金曜日 4:30～5:30

2020年10月～12月の第1クールが11回開催

2021年1月～3月の第2クールが12回開催

活動状況：2月のクーデターの影響を受け現地のインターネットが繋がらない事があつたり一斉停電とかで参加者が少ない時もありましたが継続開催致しました。

参加者：14名～5名(日本人7,8名 ミャンマー側7名 インドネシア1名)

交流内容：毎月のテーマに沿って最初の20分を参加者が1分程度話し、その後グループに分かれ其々が話す。最終の10分程度をグループでの話した内容の報告にする。

②トルコ日本語教室との交流活動

交流名称：「日本語で話そう」交流会

活動日：毎週日曜日 4:00~5:00 2月3回 3月3回 実施、

活動状況：在日トルコ人の方の紹介でアンカラの土日基金文化センター日本語教室との交流を2月14日からスタートしました。この交流にはSA吹田の国際交流事業部のコラボで行なっておりSA吹田から4名の方が参加されています。

参加者：19名~20名(日本人8,9名 トルコ側 11名)

内容：毎月のテーマに沿って全体交流、グループに分かれての交流を計1時間行なう。

③大阪大学留学生ホストファミリー活動

大阪大学の方針により当面活動休止

④大阪日本語教育センター留学生交流活動

留学生が激減している現状の中、授業日数も減り、留学生に交流活動への参画まで余裕が無い状況です。再開まではもう少し時間が必要と思われます。

⑤国際交流サロン

会議室で50人、60人が集って講演を聞くスタイルのサロン開催は難しい状況であり開催休止状況です。

4、広報部 活動報告

1) 広報誌の発行

① 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」年2回発行。

・38号(総会特集)=2021年07月

・39号(上期特集)=2021年11月

② 高大校友会・PRコーナーに配架、SAネット大阪のチラシ等PR活用に努めました。

2) ホームページの推進

・SAネット大阪事業部主催のイベントコロナ禍で、大半中止も毎月更新を行う。

3) 関連団体主催のイベントに参加予定も中止続く。

・関連団体「コーダイ文化祭」「校友会フェスタ」総て中止になりました。

4) 本部経費削減

・郵送料の圧縮推進を為、ネット大阪理事、高大役員、府SA連協理事に手配り行いました。

・広報誌の広告募集の推進を行い、広告協賛を戴きました。計30,000

① ネット大阪ニュース38号=ニランジャンナセワサンガ=10,000

② ネット大阪ニュース39号=88観光=10,000

5) 新規事業「NPOおもちゃ学校(大阪校) — 子供健全育成指導者養成講座」(毎月第三火曜日)

① 2期生開講式

・長澤校長挨拶、スタッフの自己紹介、受講生の自己紹介に続き本日の授業に入る。

・4月からのスタート3密対策でスタート・午前中・座学=工具 午後・化学工作相撲ロボット

・記念講演：高大「子ども事業部」音田事業部長、

班別写真撮影を行い班別レイアウトで実習。・実習後クラスミーティング 15:00~

②2 期生閉校式

25 名（内 3 名）欠席の受講生の皆様と 講師スタッフ 11 名の皆様に 無事 閉校式がコロナ禍の中 無事に挙げる事ができました。

受講生の皆様の成果発表会 どれも素晴らしかったです。また終了式では 松森様 作成の 修了証を一人ずつに 粗品を添えて長澤校長より授与しました。

- ・終了後スタッフの皆様と 反省会 3 密に配慮して食事会 を実施しました。

第 2 号議案 第 15 期活動計算書 報告と監査報告

I 第 15 期 活動計算書 報告…別紙「決算報告書」を参照願います。

II 第 15 期 監査報告……………別紙「監査報告書」を参照願います。

第3号議案 役員選任の件（案）

現在の役員	新役員候補（案）
理事（理事長） 村松 秀明	理事（理事長） 村松 秀明（再任）
理事（副理事長）大川 正彦	理事（副理事長）大川 正彦（再任）
理事（副理事長）二葉登代子	理事（副理事長）二葉登代子（再任）
理事 武内 信憲	理事 武内 信憲（再任）
理事 三田 進一	理事 島田 道子（再任）
理事 島田 道子	理事 森川 加也（再任）
理事 森川 加也	理事 渡邊 耕平（再任）
理事 渡邊 耕平	理事 古川 雅一（新任）
監事 新鞍 清彦	理事 長澤 慎治（新任）
	監事 新鞍 清彦（再任）

第4号議案 第16期 事業計画(案)

I. 第16期 総括事業方針

コロナという人類に与えられた試練を正しく認識し、正しい感染予防措置を取り活動を継続していきます。又この機会に、それぞれの事業部門の原点をあらためて検証し15年の区切りを経て次の時代の活動に臨んでいきます。常に当法人の理念「世代・国籍を問わず全ての人々と連携して支え合う多文化共生社会の実現を目指す」という事を念頭に置いて活動をすすめます。その為に、さまざまな団体・個人と連携し共創にチャレンジします。特に大阪府SA連協との連携については、一層緊密化に努めていきます。

II 事業部 活動方針

事業の実施に関する事項

1. 伝承おもちゃづくり府民塾事業部 活動方針

前期に引き続き「コロナ感染症」罹病を避けて活動することになると思われまます。

1) 四天王寺「わか市」

四天王寺境内で原則月1回(第1日曜日)催される「わか市」は、市民の手作りの手芸、日用品、雑貨等を展示・販売するという「市」で、多いときは150店近く出店し、展示されている品を物色する市民や参詣客、観光客等が気軽に見て廻り選べる雰囲気定着し、私たちの「おもちゃづくり」も子どもたちからシニアまで簡単に作れて遊べるので足を止めて楽しんでいかれる点で人気です。

但し、「コロナ禍」による影響から四天王寺側の危惧で「市」そのものが中止となる場合も多く、私たちの出番も制約されるので、今年度もどの程度参加できるか全くの未知数です。

何よりコロナ感染症の不安が少なくなり、「市」が定期的開催されることを先ず願わざるを得ません。

2) 「おもちゃづくり教室」

奇数月1回第3火曜日に開催している「おもちゃづくり教室」も同じことが言えます。

平成17年から定期的に始めたこの「おもちゃづくり教室」も100回が間近になってきましたが、昨年度は2回の開催に止まりました。

今年度も早速5月開催を中止しましたが今後も先行き不透明です。日本古来より伝承されてきたおもちゃを、材料・工程などを工夫し改良してきた先輩たち中心に、「教室」で指導してきましたが、今では多くの方々が更にアレンジ、工夫して独自のスタイルで各々の地域で活動されており、「教室」の果たした役割も少なからずあったと考えます。

しかし、他のおもちゃづくりグループや、「コーダイ」開校以来の「教室」からの修了生、昨年度から始まった「SA子ども塾」の修了生らと共に提携して続けていくことも大事ではないかとも考えます。

今年度からスタッフを一新し、従来の路線は継承しつつ、新しい目線で「教室」の運営を図りたいと考えています。

3) NPO 法人大阪区民カレッジ受講生への「おもちゃづくり」指導。

今年度も2校、延べ3回のカリキュラムが生まれ、講師役を委嘱されました。事前の打ち合

わせを綿密に行い受講生全員に「作って遊ぶ」楽しさを味わって欲しいし、それを地域との交流に役立ててほしいと思っています。

2. おもしろ算数教室事業部 活動方針

「如何にすれば、おもしろ算数教室やパズル体験に足を運んで頂けるか」を考えています。参加していただけると、高齢者には、脳の活性化がはかられ、認知症予防の4本柱～ ・食生活の改善・頭（脳）のトレーニング・運動習慣を付ける・質の良い睡眠 ～ の内の一つの役割「脳のトレーニング」を担うものと理解して頂けるでしょう。

今は、参加していただけるチャンスを得ることが、非常に困難な時期です。しかし、幸いなことに、府民カレッジや区民カレッジでは、この教室の評価が、少しずつではありますが、高まりつつあるのではないのでしょうか。そこで、この流れをうまく掴みたいものです。

更に、昨年度末に、いきいき教室で高い評価を得て、小学生相手の活動も広がってきています。これで、当初の狙い「子どもには、考える力を養い、高齢者には脳の活性化を図り、認知症予防を図られる」と考えています。

その上に、この教室の内容を理解して頂くためには、パズル体験が良い機会だと考えています。今後共に、サポーターの皆さんと一緒に、その機会を探り求めていきたいと考えています。

次に、一昨年定期的に教室（谷町教室）を開催しましたが、去年はコロナウイルス対策のために、会場・人員の確保が出来ないで、実施できていません。コロナウイルスによる混乱が落ち着いてきた時に、どの様に実施できるか、工夫が求められています。

人気の「清少納言チエの板」に、現在は、新しい「ユークリッドのチエの板」をサポーターの方と協同で作成中です。

3. 国際交流事業部 活動方針

2020年度にコロナ禍の中での活動として始めたオンライン国際交流活動を今期も継続致します。国際文化交流科の修了生を中心に SA 連協の国際交流部とのコラボを含めてミャンマー、トルコの2か国2グループでの交流は継続し、新たに ISMEK(イスタンブール職業訓練コース)との交流を6月からスタートします。又オンラインでの国際交流活動は希望者も多く交流先を新たにベトナム・インドネシア等東南アジアの国にも求め、交流を図りたい。

国際文化交流科の7期修了生は24名の方が修了後活動の模索をしておられ活動へのアドバイスを行なって行きたいと考えています。

また日本語教育センターやYOLO JAPAN等、大阪において海外からの外国人に対応している団体・企業との連携を深めていき、外国人と共生社会の実現に貢献できるようにしていきたい。

・ミャンマー「日本語で話そう」交流会

第3クール～第6クール 1クール 10回 合計40回

・トルコ「日本語で話そう」交流会

第2クール～第5クール 1クール 10回 合計40回

・交流相手国候補 ベトナム・インドネシア

・交流する国を増やして行き、其々の交流グループのコーディネータをSAネット大阪会員が御世話するようしていきたい。

4、広報部 活動方針

広報誌の発行と対外啓発活動（チラシ、ホームページ）を行い、NPO シルバーアドバイザーネット大阪のファンづくり又新規事業による収支の良化、新人導入による世代交代を図る事等を継続します。

1) 広報紙の継続発行

- ① 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」は、年2回
40号（総会）令和4年7月
41号（上期）令和4年11月の発行を目指します。
 - ・協賛金組織による広告宣伝費協力をお願いを行います。
 - ・会員交流の場「かわら版コーナー」等、充実した内容を図り発信します。
- ②各事業部イベントチラシの支援、受講者アップを図ります。

2) 啓発活動

- ①高大校友会のPRコーナーのラックにも継続して「PRチラシ」等を配架し又 関連団体行事の「高大文化祭」「高大スポーツ大会」「高大修了式」「大阪区民、大阪府民カレッジ修了式」等に事務局と共同で参加し、PRブースで資料でのSA ネット大阪のPRに努めます。

3) ホームページの推進

- ①SA ネット大阪主催のイベント「フレイル講演会」「国際交流サロン」、「おもしろ算数教室」、「おもちゃづくり教室」等の各事業部の資料更新と引き続き「事業部トピックスコーナー」の充実で、定期的なホットニュースを発信いたします。
- ②「SA ネット大阪ニュース」を、引き続き年2回。40号＝令和4年7月（総会特集）
 - ・41号＝令和4年7月（上期）にHPにアップします。
- ③関連団体のNPO 大阪府高齢者大学校、高大校友会、関連団体のイベントの報告を更新します。

4) NPO おもちゃ学校（大阪校）＝ 子供健全育成指導者養成講座

- ・2022年度も「シルバーアドバイザー・ネット大阪」主催で実施
- ・実施日 2022年4月19日（火）10：00～
- ・会場 認定NPO 大阪府高齢者大学校3階6号
- ・受講生 18名

第5号議案 第16期活動計算書予算(案)……………次頁を参照願います。

第16期 活動計算書予算(案)

2021年4月1日～2022年3月31日						
<<経常増減の部>>	昨年同期実績	総計	本部	国際交流事業部	おもちゃ事業部	算数教室事業部
		予算	予算	予算	予算	予算
[受取会費]						
正会員受取会費	60,000	60,000	60,000	0	0	0
賛助会員受取会費	42,000	42,000	42,000	0	0	0
受取会費 計	102,000	102,000	102,000	0	0	0
受取寄付金	3,200	50,000	50,000	0	0	0
受取寄付金 計	3,200	50,000	50,000	0	0	0
委託・助成金収入	330,600	580,000	580,000	0	0	0
受取助成金等 計	330,600	580,000	580,000	0	0	0
[事業収益]						
物品販売収益	23,200	20,000	0	0	0	20,000
行事参加会費収益	0	50,000	0	50,000	0	0
謝金収入	20,490	95,000	0	0	50,000	45,000
他事業収入	0	468,000	468,000	0	0	0
事業収益 計	43,690	633,000	468,000	50,000	50,000	65,000
受取利息	3	0	0	0	0	0
その他収益 計	3	0	0	0	0	0
経常収益 計	479,493	1,365,000	1,200,000	50,000	50,000	65,000
[経常費用]						
(人件費)		0				
活動手当(事業)	25,000	90,000	0	0	33,000	57,000
人件費 計	25,000	90,000	0	0	33,000	57,000
(その他経費)						
諸謝金	0	290,000	270,000	20,000	0	0
印刷製本費(事業)	100	42,000	30,000	9,000	3,000	0
会議費(事業)		0	0	0	0	0
会場費(事業)	0	182,000	170,000	12,000	0	0
通信運搬費(事業)	2,270	24,000	20,000	0	2,000	2,000
材料費(事業)	8,051	257,700	250,000	0	6,000	1,700
消耗品費(事業)	3,465	39,000	30,000	6,000	3,000	0
租税公課(事業)	1,023	23,747	20,000	0	0	3,747
支払手数料(事業)	0	10,000	10,000	0	0	0
雑費(事業)	0	3,000	0	3,000	0	0
その他経費 計	14,909	1,124,447	1,050,000	50,000	17,000	7,447
事業費 計	39,909	1,214,447	1,050,000	50,000	50,000	64,447
[管理費]						
(人件費)		0		0	0	0
人件費 計	0	0	0	0	0	0
(その他経費)						
印刷製本費	44,590	20,000	20,000	0	0	0
会場費	5,780	5,000	5,000	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	37,250	20,000	20,000	0	0	0
消耗品費	13,931	14,000	14,000	0	0	0
諸会費	5,000	10,000	10,000	0	0	0
租税公課	0	0		0	0	0
支払手数料	92,933	5,000	5,000	0	0	0
管理 諸費	68,970	70,000	70,000	0	0	0
雑費	3,000	5,000	5,000	0	0	0
その他経費 計	271,454	149,000	149,000	0	0	0
管理費 計	271,454	149,000	149,000	0	0	0
経常費用 計	311,363	1,363,447	1,199,000	50,000	50,000	64,447
当期経常増減額	168,130	1,553	1,000	0	0	553
<<経常外増減の部>>						
[経常外収益]						
当期正味財産増減額	168,130	1,553	1,000	0	0	553